

## 【0019・『Oikos』等野生生物保存運動関連図書資料】

### 資料群概要

作成主体：倉澤七生

資料群名称：『Oikos』等野生生物保存運動関連図書資料

年代：1980年代後半から2000年代初頭

要約：『Oikos』を中心とする野生生物保存問題を扱った雑誌・書籍・パンフレット類からなっている。

総量：55点

受入番号：0019

言語：日本語

### 資料群の管理と利用に関する情報

出所：『Oikos』等野生生物保存運動関連図書資料（以下、本資料群と略記）は、全20ファイルからなる。本資料群の中心となる『Oikos』は、倉澤氏も編集人になっていた野生生物保存問題に取り組んだ雑誌であり、その他の資料も野生生物保存運動を扱った雑誌・書籍からなっている。『Oikos』は1987年5月創刊の雑誌で、企画・編集がオイコス編集部（のちオイコス事務所）、発行はスタジオ・バグ（のちオイコス事務所）から刊行されていた。本雑誌は1996年8月の13号をもって終刊としている。『Oikos』は所蔵している大学も少なく（広島女学院大学・横浜市立大学、NACSISWebcat調べ、2013年11月2日時点）、国会図書館も全冊を揃えて所蔵していないので、環境問題に関する資料収集を主たる目標としている環境アーカイブズに本誌を全冊揃えて紹介できたことは意義があるといえる。

他機関所蔵情報：『Oikos』は、国会図書館・広島女学院大学・横浜市立大学に所蔵

関連する資料群：特になし

利用の形態：原資料での閲覧（一部デジタルでの閲覧）

整理方法についての情報：2011年2月18日に環境アーカイブズ資料公開室に寄贈された本資料群は、ダンボール箱から文書箱に移し替える際に写真撮影をおこない、資料はファイル別に中性紙封筒に入れ替えて保管している。また、書籍を除いた資料についてはデジタル化処置をおこなっている。目録やデジタル化は、サステナビリティ研究機構時代にPDの真田康弘が行い、資料群概要の作成及び最終的なとりまとめは、

大原社会問題研究所へ統合された後、環境アーカイブズ RA の高江洲昌哉がおこなった。

引用する場合の表記方法：(資料群名)、(受入番号)、(箱番号)、(ファイル番号)、法政  
大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ

利用制限：公開を目的とした刊行された資料のため、特段の制限はない。

作成者の権利について：所有権は法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズにある。  
著作権は個々の資料による。

### 作成主体についての情報

倉澤七生氏は、元オイコス編集部・オイコス事務所主宰者。現在イルカ&クジラ・アクション・ネットワーク（IKAN）事務局長である。IKANは日本における代表的な鯨類保護を主張するNGOであり、毎年国際捕鯨委員会年次会議にNGOオブザーバーを送っている。IKANは海洋環境問題一般にも関与しており、国内の環境・自然保護団体とともに、野生生物保全に関連する法制度の改善に、主に海洋の部分で貢献している。

### 資料群の内容

本資料群は20ファイルからなり、そのうち『Oikos』等刊行物が16ファイル、他の自然保護団体発行の資料が2ファイル、他に書籍等刊行物が2ファイルである。